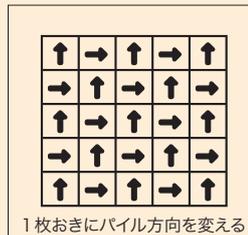


## タイルカーペットの特性

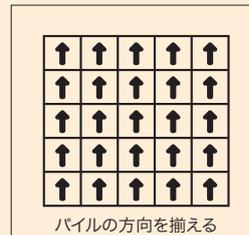
対象商品：モードスタイル、アートバンク、カラーバンク、ピクセル、ピクタ、プレミアムバンク

- ・タイルカーペットはピールアップボンドによる施工が基本となります。目地がきつくなりすぎないように、また施工の際に目地にパイルを挟まないように注意して施工する必要があります。
- ・施工は市松貼りや流し貼りがありますが、商品によっては流し貼りは目地が目立つ場合があります。

市松貼り



流し貼り



●裏面の矢印等を確認しながら、指定された貼りで敷き込みます。

## 製品に関してのご注意

|                  |  |                         |  |
|------------------|--|-------------------------|--|
| <b>光、熱などの影響</b>  | 光や熱、また窒素酸化ガスなどの影響などにより変退色・変形する可能性があります。また長時間直射日光が当たる場所では変退色が早くなる可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。外部との出入口(風除室)等は、外からの影響で変退色や劣化が早くなる可能性がありますので、マットの設置をおすすめします。 | <b>重量物による損傷</b>         | 重量物を長時間置いたままにすると、パイルがつぶれたままになる可能性があります。  |
| <b>汚染による影響</b>   | 強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキ・毛染め剤などの汚染物質により変退色や変質を招く場合があります。またゴム製品や家具などの保護用ゴム剤・塗料・防腐剤・殺虫剤などによって、カーペットが汚染され変退色を招くおそれがあります。                                     | <b>結露水</b>              | 壁面の結露は、カーペットの変色・カビ・臭気発生の原因となります。換気を良くするなどの結露対策を講じてください。  |
| <b>色味</b>        | 製品の色調は光源の種類、光量などにより異なって見えることがあります。また淡色のカーペットの場合、汚れが目立ちやすくなる場合がありますので、選定時には十分ご配慮願います。   | <b>製品の臭い</b>            | 製品には素材固有の臭いがあります。臭気が気になる場合は換気してください。   |
| <b>タバコ</b>       | 火の付いたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡が付くと取れません。   | <b>その他</b>              | カットパイルは使用中に雲状の色ムラに見えることがありますが、この現象はカットパイル特有の性質であり、品質の欠陥ではありません。  |
| <b>家具などによる凹み</b> | 家具や什器、ハイヒールなどの局所荷重により、凹み跡が残る場合があります。   | <b>消毒液・抗菌・除菌スプレーの使用</b> | 市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、記載の用法・用量に従い、あらかじめ目立たない箇所を確認してからご使用ください。素材によってはシミや風合いが悪化する場合があります。また過剰な塗布は避け、薬液を含ませた布で拭くか、適量をなるべく均一に噴霧するようにし、噴霧後に硬く絞った布巾で水拭きをしてください。また次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤)の使用は、変色や風合いが悪化する恐れがあります。特に次亜塩素酸水は、後染め製品及びプリントのナイロン製タイルカーペットを変色させる恐れがあります。また消毒液を使用の際に、容器から液体が床に垂れることがありますので、あらかじめ容器の設置箇所にマットを敷いておくことをおすすめします。 |
| <b>床暖房</b>       | タイルカーペットは床暖房でのご使用はできません。   | <b>履き物</b>              | スパイク等が付いた靴を使用する場合は、一般の土足歩行とは異なります。傷や汚れが付きやすく、硬質系床材では滑り等にも注意が必要です。  |

## 施工上のご注意

### ■材料の確認

|                |  |                  |  |
|----------------|--|------------------|--|
| <b>①材料について</b> | 梱包ケースに記載の品名、規格、色番号、ロット番号、数量などを確認し、施工を開始してください。品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあります。施工の際はご注意ください。またタイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。<br>※プレミアムバンクについて：ウールは天然繊維のため、紫外線等の影響により、短時間で色差が生じる場合があります。 | <b>②現場環境に慣らす</b> | 必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。   |
| <b>①温度調整</b>   | 施工を行う前に、現場環境は室温15℃～25℃、湿度75%以下であることを確認してください。  | <b>③適切な保管場所</b>  | 製品を保管する際は、湿気の少ない平坦な場所で平置きし、6段以上積まないでください。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、納まりが悪くなります。直射日光のあたる場所での保管は避けてください。なお保管の際は、雨水などによる水濡れを避けてください。                              |
| <b>②明るさの確保</b> | 現場が暗い場合は、照明器具を用いて十分な明るさを保ってください。   | <b>⑤施工</b>       | タイルカーペットに反りや剥がれ、膨れなどが生じた場合は、ただちに補修してください。放置すると全体に影響がおよび、美観を損なうほか、つまずいて転倒するおそれがあります。またカーペットと硬質系床材との取り合い部で、カーペットをカットする場合はパイルのほつれ防止のため、接着剤等でパイルのほつれを防止してください。 |
| <b>③清掃</b>     | 下地に汚れ等があると十分な接着強度が得られないため、汚れを取り除いてください。ワックスが付いている場合は除去してください。  | <b>⑥二重床への施工</b>  | 二重床はピールアップ性が強く求められるため、接着剤「CP-7L」による施工が必要です。二重床自体が動く場合があり、それに伴い製品のずれや反りが発生する場合がありますので予め防止をしておくことが必要です。  |
| <b>④下地調整</b>   | 下地に段差等がある場合は平滑にしてください。また下地の影響等で製品が浮いてしまうような場合は、接着剤が硬化するまで重しを置いてください。   | <b>⑦接着剤</b>      | 接着剤にて施工する場合、条件、環境等により使い分けしてください。接着剤は各使用方法に基づきご使用ください。なお接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。   |

### ■施工後の自主点検

タイルカーペットのパイルの方向性が合っているかどうか、また目地部分の浮きや隙間の有無をチェックしてください。その際、パイルのほつれや飛び出しが無いかも同時に確認してください。

### ■養生

接着剤などによる汚れや、その他不備な箇所が無いかを点検してください。また養生シートを留める際、粘着テープは直接床材に貼付けしないでください。床材を汚染する原因となります。

### ■その他

取り替え部は、製品ロットの違い、日焼け等により色・サイズが合わない場合がありますのでご了承願います。

## ■指定接着剤

CP-7L

▶P.348 参照

※ 当社の指定接着剤は、JIS規格による接着基準を満たしていますので、必ずご使用ください。  
※ 接着剤は、直射日光のあたらない場所(5℃～35℃)で保管してください。

## ■基本的な施工の流れ



## ■基本的な施工方法

### 01 割付け

貼り方向・取り合わせを検討の上、割付けします。なお割付けの際は、廊下や通行量が集中する場所にカーペットの継ぎ目がこないようにします。

### 02 接着剤の準備

- ・接着剤は指定のピールアップボンド(CP-7L)を使用してください。
- ・接着剤の塗布量やオープンタイム、貼付け可能時間は、以下を目安にしてください。  
塗布量の例)モルタル下地：約80～120g/m<sup>2</sup>

※タイルカーペット不織布バックング品の場合、塗布量は従来の約2～3割多くしてください。(約100～160g/m<sup>2</sup>)

※またプレミアムバンクの場合、塗布量は約160～200g/m<sup>2</sup>としてください。

#### ●CP-7Lのオープンタイム、貼付け可能時間

|                 |   |
|-----------------|---|
| オープンタイム<br>(目安) | 5°C:20～30分<br>23°C:10～20分<br>35°C:5～10分 |
| 貼付け可能時間<br>(目安) | 5°C:約50分<br>23°C:約40分<br>35°C:約30分      |

### 03 接着剤の塗布

接着剤を塗布する際は、クシ目ゴテで墨出し線から均一に塗布してください。また標準塗布量やオープンタイム、および貼付け可能時間は必ず守ってください。接着剤が透明になってから、施工を開始してください。

### 04 貼付け・切り込み

- ・タイルカーペットの裏面の矢印を確認し、基準線に沿って敷き込んでいきます。 ※通常は、市松貼りをおすすめします。
  - ・壁際など、タイルの切り込みが必要な部分は、裏カットまたは表カットで切り込みます。 ※プレミアムバンクは必ず裏面よりカットしてください。
- ※ルーパイルの商品は、製品の端部(カット面)の状態や下地の不陸、施工などによって目地が目立つ場合があります。

#### ■裏カット

切り込みを行うタイルカーペットを一枚手前のタイルカーペットの上に正確にのせて合わせ切りします。厚さの半分までカッターを入れた後に、折り曲げて再度カッターで切り落とします。

#### ■表カット

カッターを深く入れ、一度にバックング層まで完全にカットします。残った場合はカッターを使って切り離します。

ご注意

- 表カットすると切り込み寸法が長めになりがちなので注意してください。



### 05 圧着

施工後はハンドローラーで目地部分を圧着し、浮きなどを解消してください。

### 06 施工後の点検

施工後、目違いや目地隙、汚れなどが無いかを確認します。また目地にパイルをはさんでいる場合は補修してください。

### 07 養生

不備な箇所や接着剤などによる汚れの有無を確認し、必要に応じて養生シートを敷いてください。

## OAフロア・フリーアクセスなどの二重床への施工方法について

**対象商品：モードスタイル、アートバンク、カラーバンク、ピクセル、ピクタ、プレミアムバンク**

二重床はピールアップ性が求められるため、「CP-7L」による施工が必要です。また二重床自体が動く場合があり、それに伴い仕上材のタイルカーペットのずれが発生する場合がありますので、予めずれ防止しておくことが必要です。

施工上のご注意

### ■接着剤

- ・接着剤は当社指定のピールアップボンド（CP-7L）をご使用ください。
- ・接着剤の塗布量は約 80 ~ 120g/㎡（タイルカーペット不織布バックング品は約 100 ~ 160g/㎡、またプレミアムバンクは約 160 ~ 200g/㎡）としてください。
- ・接着剤が透明になってから、施工を開始してください。

### ■割付け

- ・割付けの際は、パネルの目地とタイルの目地を半分ほどずらしてください。

※パネルとタイルカーペットの目地を合わせると目地隙や段差などが発生する場合があります。

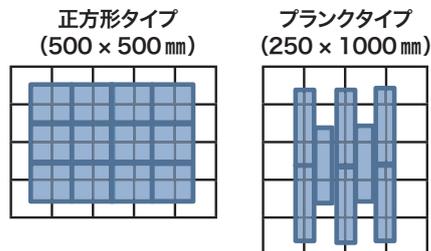
### ■貼付け

- ・接着剤やメンテナンスの際の洗剤などが流れ込まないように、パネルと床材を目地をずらして貼ります。
- ・開口率の高いパネルや凹凸の大きなパネルはタイルの破損や突き上げが発生する恐れがあるため、施工は避けてください。

※パネル間に隙間があり、この隙間に床材がなじむことにより、段差が発生しやすいため、注意してください。

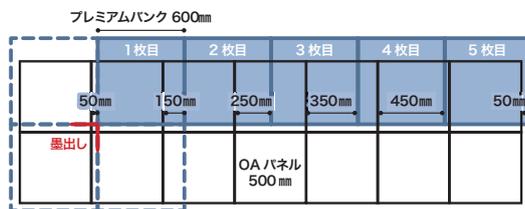
※下地パネルの段差は 1mm 以下、隙間は 2mm 以内に抑えてください。

※パネルの段差や目地隙の不陸が大きいと目地ずれが生じる場合があります。横のラインを調整しながら、施工を行ってください。



## プレミアムバンクのOA下地への割付け方法

プレミアムバンクは 600mm 角サイズとなりますので、OA パネル（500mm 角）に対して縦横ともに 50mm の箇所を基準として施工を行ってください。タイルカーペットを 5 枚貼った箇所、目地が重なり合うことなく、OA パネルとの位置関係が元に戻ります。



## アンダーレイシートへの施工方法について 対象商品：モードスタイル、アートバンク、カラーバンク、ピクセル、ピクタ

タイルカーペットをアンダーレイシートへ施工する場合について、当社は（株）ダイウレの「ダイウレシート」を推奨としています。このダイウレシート下地をご使用の場合は、必ず商品に梱包されている施工要領書に基づいた適切な施工を行い、施工後に予想される不具合を必ず事前にご確認の上、お取り扱い頂きますようお願いいたします。※適切な施工を行っても、重量物の引きずりなどによる剥がれやずれ、設置物のへこみなどが発生します。※プレミアムバンクは、アンダーレイシート下地への使用は出来ません。クッションバックングの為、目違い等が発生しやすくなります。

### ダイウレシート（タイルカーペット用）について

#### ●規格

| 品番   | 形状 | サイズ           | 対応表（軽歩行対応／重歩行対応） |           |       |
|------|----|---------------|------------------|-----------|-------|
|      |    |               | タイルカーペット         | カーペットベタ貼り | 塩ビタイル |
| DA-8 | 長尺 | 8mm×950mm×10m | ◎／◎              | ◎／◎       | ×／×   |
| DA-4 | 長尺 | 4mm×950mm×20m | ◎／◎              | ◎／◎       | ×／×   |

### ダイウレシートの施工上のご注意

- ① 黒不織布面（ロールの内側面）を表面とします。
- ② ダイウレシートの接合部はつきつけ施工が基本です。
- ③ ダイウレシートの割付けに基づき、若干長めに荒切りし、糊入れを行い、周囲を切り込んで裁断してください。（クシ目ゴテにて全面接着）  
※下地との接着には合成ゴム系テックス（白糊）を使用しますが、使用場所および状況（水回りなど下地に湿気のおそれがある場合）によっては耐熱耐水水性ウレタン樹脂系、またはエポキシ樹脂系接着剤をご使用ください。
- ④ ダイウレシート施工後、圧着時間内にローラーがけを行い、エアークリーナーを取り除いてください。また接着剤硬化のための十分な養生時間を確保してください。

## タイルカーペットの施工について

- ・クッションバックング品は、アンダーレイシートの上には施工しないでください。
- ・接着剤は、ピールアップボンド（CP-7L）を使用してください。
- ・接着剤の塗布量は、100 g/㎡以上とし、クシ目ゴテで塗布してください。（ただし、重量物の往来が想定される場所は、必ず接着剤を多めに塗布するようにしてください。）
- ・接着剤塗布後は、接着剤が透明になるまでオープンタイムを取ってください。
- ・タイルカーペットを貼付け後は、必ず圧着を行ってください。（オープンタイム不足による貼付け強度の低下には十分にご注意ください。特に冬場は乾きが遅くなりますので、注意が必要です。）

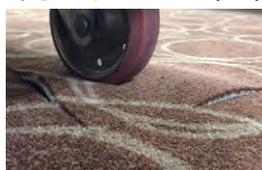
※ 8mm厚（DA-8）は、クッション性が増す分、圧着による接着強度不足が生じやすいため、タイルカーペットが十分に下地になじみ、タックを保っていることを確認してください。また、重量物の往来が予想される場所には、4mm厚（DA-4）を使用してください。

## 予測される不具合について

本来、床材の施工下地は、表面が硬く平坦平滑であることが望ましいですが、アンダーレイシートはクッション性があるため、施工後に下記のような不具合が起こる場合があります。特に重量物の走行や設置をされる場合はご注意願います。

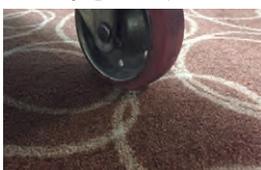
- ① 適切な施工を行っていても急激な移動荷重（キャスターなど）により、タイルカーペットにずれ、擦れが発生する場合があります。
- ② 適切な施工を行っていても重量物等による過負荷が加わった状態では、カーペットに凹みやずれ、擦れが発生するリスクがあります。

下地：アンダーレイシート（8mm）



タイルが擦れかけている

下地：モルタル



変化なし



●重量物を移動させると凹みが発生するため、現状復帰はできません。



初期段階より凹みが発生します